

PRSJ NEWS

2023年10月号 No.355



第29回広報活動研究会「近畿大学 東大阪キャンパス見学会」の様子。
開催レポート(会員限定)は11月号に掲載予定

TOPICS

MESSAGE

サステナビリティ、ガバナンスとパブリックリレーションズ

PRSJ 監事 富岡 洋子

P3

10月入会の皆様のご紹介

P4

ATTENTION

「PRアワードグランプリ 2023」エントリー受付締め切り迫る！

P5

PRSJ“ひとり広報”MEET UP 開催案内

P7

BULLETIN

国際セミナー「カンヌライオンズ 2023 PR部門受賞作品から見てくるもの」

P12



公益社団法人日本パブリックリレーションズ協会

発行人：理事長 牧口 征弘

目 次

10月~11月スケジュール		P1
MESSAGE(メッセージ)	サステナビリティ、ガバナンスとパブリックリレーションズ	P3
ATTENTION(お知らせ)	10月入会の皆様のご紹介	P4
〃	「PRアワードグランプリ 2023」エントリー受付締め切り迫る！	P5
〃	「PRSJ“ひとり広報”MEET UP」10月30日開催	P7
〃	「PRケーススタディ<第2回>」を10月下旬開講	P9
〃	第34回2次試験の申込みは10月27日まで	P10
〃	開講中！2次試験対策講座	P11
BULLETIN(活動報告)	国際セミナー 「カンヌライオンズ 2023 PR部門受賞作品から見えるもの」報告	P12
PRSJ in MEDIA	協会掲載記事	P13
事務局だより		P14

10～11月 セミナー・イベント スケジュール

【オンライン】

パブリックリレーションズ入門 Web 講座 2023
日 時 : 通年開講
講 師 : 東京都市大学 都市生活学部/大学院環境情報学研究科
准教授 北見幸一氏他、全9名

【オンデマンド視聴】

PR ケーススタディ 2023 <第 1 回>
日 時 : 7月18日(火)～2024年3月28日(木)
テーマ : 卓越したPRプロジェクトから成功のポイントを学ぶ
講 師 : 合同会社ユー・エス・ジェイ ブランドPR ディレクター 柳沢洋子氏
株式会社プラチナム グローバルコミュニケーション局 PRプランナー
小田切 萌氏
味の素冷凍食品株式会社 戦略コミュニケーション部 PRグループ長
勝村敬太氏

【オンデマンド視聴】

PR 集中テーマスタディ <第 1 回>
日 時 : 7月25日(火)～2024年7月31日(水)
テーマ : 「リスクコミュニケーション(危機管理広報)」
講 師 : 株式会社電通PRコンサルティング エグゼクティブコンサルタント 松本 太氏
報道対策アドバイザー 窪田順生氏
シエンプレ株式会社 WEBソリューション事業部 シニアマネージャー 桑江 令氏

【オンデマンド視聴】

PR プランナー2次試験対策講座
日 時 : 通年開講
講 師 : 三菱UFJフィナンシャル・グループ 飾森亜樹子氏他、全12名

【オンデマンド視聴】

PR プランナー1次試験対策講座
日 時 : 通年開講
講 師 : 株式会社井之上パブリックリレーションズ 横田和明氏他、全4名

【ハイブリッド開催】

日 時 : 10月30日(月) 17:00～18:30(予定)
テーマ : PRSJ“ひとり広報”MEET UP
会 場 : 近畿大学東京センター及びZoomウェビナー

10月～11月の理事会・委員会・部会スケジュール

◇定例理事会	(10月度)	日時	: 10月12日(木)	16:00～17:30
		会場	: 事務局+オンライン開催	
	(11月度)	日時	: 11月9日(木)	16:00～17:30
		会場	: 事務局+オンライン開催	
◇教育委員会	(10月度)	日時	: 10月16日(月)	14:00～15:30
		会場	: 事務局+オンライン開催	
◇資格委員会	(10月度)	日時	: 10月26日(木)	14:00～15:30
		会場	: ハイブリッド開催	
◇国際・交流委員会	(10月度)	日時	: 10月6日(金)	16:30～17:30
		会場	: オンライン開催	
◇広報委員会	(10月度)	日時	: 10月26日(木)	16:00～17:00
		会場	: オンライン開催	
◇顕彰委員会	(10月度)	日時	: 10月24日(火)	16:00～17:00
		会場	: オンライン開催	
◇企業部会幹事会	(10月度)	日時	: 10月4日(水)	17:00～18:00
		会場	: 事務局+オンライン開催	
◇PR業部会幹事会	(10月度)	日時	: 10月17日(火)	16:00～17:00
		会場	: オンライン開催	

サステナビリティ、ガバナンスとパブリックリレーションズ



PRSJ 監事 富岡 洋子
(NTTデータ先端技術(株) 取締役常務執行役員 人事総務部長)

2014年から6年間、理事として協会に関わらせていただき、この度2022年度の通常総会にて、監事として新しい役目を拝命いたしました。執行側とは異なる視点から、協会のさらなる発展に寄与できればと気を引き締め、職務に携わってまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

昨今、企業の視点からは、ガバナンスやサステナビリティが非常に重要なテーマとしてクローズアップされてきています。特にサステナビリティに関しては、課題解決者としての企業に対する期待とともに、グローバルレベルで多様な視点からの開示要請が非常に強まってきました。これらはパブリックリレーションズの活動とも密接に関わるものと、皆様も強く感じているのではないのでしょうか。

まず気候変動への対応です。気候変動が企業経営に与える影響の大きさに鑑み、2017年に気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)より気候変動がもたらす財務的影響の把握・開示が提言されました。2022年からは日本でも東証プライム市場上場企業にTCFDレベルでの開示が義務化されています。

これに続く流れが自然環境の変化や生物多様性などの「自然資本」への対応です。2021年、自然関連財務情報開示タスクフォース(TNFD)が設立され、先月2023年9月にフレームワークの最終版が公表されました。TCFDの時と同様、今後、企業もこれに沿った開示に向け動くことになるでしょう。

さらに「Society」をスコープとした開示の動きも強まっています。不平等と社会の2つの側面から、それぞれにタスクフォースが動いていましたが、2023年4月に両者が統合、不平等・社会関連財務情報開示タスクフォース(TISFD)として検討が進められることとなりました。

この潮流はIRやサステナビリティ開示担当の領域にとどまらず、広くPRパーソンにとっても大きく影響があると考えています。「パブリックリレーションズは、ステークホルダーおよび社会との間で健全な価値観を形成し、継続的に信頼関係を築くための活動である。」という定義を踏まえれば、上述した開示要請の動向も、パブリックリレーションズの活動と関わりあう枠組みの一つであり、PRパーソンが知っておくべき基礎知識の一つといっても過言ではないかと思います。

令和の企業経営においては、これまで以上に多様な視点を積極的に取り入れ、既存の常識に寄りかかることなく未来を見据えて自己修正を繰り返し、よりよい価値を生み出すことが求められています。その中でPRパーソンは、企業の活動を透明性高くコミュニケーションすると同時に、こうした様々な社会からの要請をアンテナ高くとらえて企業の経営にインプットし、ガバナンスの絶えざる向上に寄与していくことができる存在です。大きな社会の動きの中で、PRパーソンの皆様にはぜひとも世の中の変化を先取りし、視座を高くスキルを高め、PRからの価値創出に向けて継続的に活動していただきたいと期待しています。

PRパーソンが果たすことのできる役割はますます広がっており、寄せられる期待もさらに大きくなっています。PRSJの監事として、PRパーソンの皆様へのインプットやスキル向上等に向け、協会が一層よい活動を進めていけるよう、力を尽くしてまいります。会員の皆さまには、引き続きご指導・ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

新規入会の会員（正会員）のみなさまの「自己紹介」ページです。今回は、10月にご入会いただきました正会員（掲載希望社）をご紹介します。

studio15 株式会社



TikTok を中心としたショートムービー（短尺動画）に特化した広告代理店事業・プロダクション事業を展開しています。2019年1月に設立し、現在、所属クリエイター数約160名、総フォロワー数約5,000万人のTikTok 公認のMCNとして、美容・コスメ、ファッション、食品、アプリ等、多くの企業のTikTok におけるプロモーションをサポートしてまいりました。SNS マーケティングにおいてナショナルクライアント等300社以上のプロモーションを行っております。TikTok・YouTube shorts・Instagram Reels を用いた広報・広告プロモーションなどワンストップでのご依頼が可能です。

フェロールーム株式会社



私たちフェロールーム株式会社は1960年、自動車メーカーのPR誌制作からスタートし、時代の要請に合わせて活動の範囲を広げてきました。創業のきっかけとなったPR誌は今も続いています。現在は主に広告や販促物の制作をメインとし、グラフィック・動画・WEB等メディアにとらわれない幅広いアウトプットを生み出し続けています。今、人々の価値観もコミュニケーションのあり方も多様になる中で、クライアントの関心も「モノを売る」ことから「社会とともに生きる」ことに移ってきています。そこでPRSJでの活動を通じ、PRの最新動向を学ぶことで知見を広げていきたいと考えています。よろしくご願いたします。

「PRアワードグランプリ 2023」エントリー受付締め切り迫る！ 10月16日(月)17:00が締め切り(必着)です 顕彰委員会

8月21日(月)から「PRアワードグランプリ 2023」のエントリー受付を開始しております。最終受付の締め切りは10月16日(月)17:00(必着)です。皆さまからのエントリーを、心よりお待ちしております。※早期エントリーでは13件の応募がありました

「PRアワードグランプリ 2023」応募概要

- <後援> : 経済産業省、日本広報学会、公益社団法人 日本広報協会
<エントリー案件> : 企業・団体が実施または参加したコミュニケーション活動であり、活動開始時期に関わらず直近1年間に成果があがったもの。
※現在継続している活動を含む
※過去にエントリーした案件も、上記条件に当てはまれば再度エントリー可

<成果イメージ> :

- コーポレート・レピュテーションの向上
- マーケティング面における貢献
- ソーシャルグッドによる新たな意識・行動の実現
- 日本や世界のパブリックリレーションズの価値向上や新たな手法解決に貢献する活動

<エントリー方法> : 「PRアワードグランプリ 2023」のエントリーフォームに必要事項を入力し、作成した既定のエントリーシートを添付して登録。

<エントリー料> :

- 22,000円(税込) / 1エントリー(振込手数料別途) ※2023年10月16日(月)17:00必着

<審査について> :

審査委員長と9名の審査委員の計10名で構成。審査委員全員が一堂に会して議論形式の審査会を開催。全エントリーに対し厳正な審査を行い、「グランプリ」「ゴールド」「シルバー」「ブロンズ」の各賞を決定いたします。

なお、顕彰委員会及び審査委員の協議により、上記の賞以外の表彰を行う場合もございます。

1. 一次審査(11月16日(木)予定)

審査委員が全エントリーを審査し、上位エントリー(10組程度)を決定いたします。

2. グランプリ審査(11月30日(木)予定)

一次審査で決定した上位エントリー(10組程度)によるエントリー内容の説明(1組10分程度)と審査委員からの質疑応答のセッションを実施し、全てのセッション終了後、「グランプリ」、「ゴールド」、「シルバー」各賞を決定いたします。審査終了後、審査結果をご担当者へメールにてご連絡いたします。

<表彰式について>

12月13日(水)、全受賞エントリーに対し表彰式を開催。また、シルバー以上の受賞エントリーについては、一般公開のためプレゼンテーションを行っていただきます。

日時: 2023年12月13日(水)16:30~20:00(予定)

※表彰式の詳細は、11月下旬にご担当者へメールでご案内いたします

<ご参考>

その他アワードに関する記事や Web ページのご案内は次ページに掲載

◆アワード応募概要

<https://prs.j.or.jp/pr-award/>

◆アドバタイムズ アワード特集記事

◇第1弾

「PRアワードグランプリ」審査委員長を務める本田哲也氏（本田事務所）と、ACC 賞 PR 部門の審査委員長である眞野昌子氏（日本マクドナルド 広報部 部長）との対談が実現。

PR 部門を ACC 賞が新設「合意形成のクリエイティビティ」が今こそ必要に

[\(前編\)](#)

<https://www.advertimes.com/20230619/article423264/>

[\(後編\)](#)

<https://www.advertimes.com/20230620/article423286/>

◇第2弾

ACC 賞 PR 部門審査委員長を務める日本マクドナルドの眞野昌子氏、「PRアワードグランプリ」審査委員長の本田哲也氏、そして世界最大の広告関連アワード「カンヌライオンズ」の若手向けコンペ「ヤングカンヌ」に日本代表として出場した博報堂の大井椋介氏、汪芸佳氏が対談。

プロの広報・PR キャリアを目指す人へ「メディア露出を評価軸にしてはいけない」

<https://www.advertimes.com/20230926/article434376/>

◆過去の受賞事例

<https://prs.j.or.jp/pr-award/list/>

◆協会 SNS でアワード情報も更新中

X (旧 Twitter) : <https://twitter.com/PRSJinfo>

Facebook : <https://www.facebook.com/prsj1>

集まれ、“ひとり広報”！！ 「PRSJ “ひとり広報”MEET UP」を開催！

10月30日(月)17時～18時半(予定)

近畿大学東京センター及びオンライン配信

実態調査報告に体験談(事例紹介)、パネルディスカッション、ネットワークづくりも

(個人会員担当)ひとり広報プロジェクトチーム

昨年来、個人会員対応のプロジェクトにおいて、話題の「ひとり広報」をテーマに調査や企画検討を実施しています。

このたび、“ひとり広報”の当事者と有識者が集まり、ひとり広報の現状と将来について語り合うイベント（MEET UP）を開催する運びとなりました。

先日実施した「ひとり広報実態調査」からひとり広報のプロフィールと現状を浮き彫りにし、当事者ご本人に体験を語っていただくとともに、ひとり広報をテーマとする出版の著者も交えてパネルディスカッションを展開します。

会場とオンラインの併用で、非会員を含むどなたでも参加いただけます。また、ひとり広報ではなく、組織的に広報活動を行っているご担当者にとっても必ずやヒントとなる内容になっています。

みなさまのご参加をお待ちしています。

■セミナー名 「PRSJ “ひとり広報” MEET UP ～集まれ！ひとり広報」

■日時 10月30日(月) 17時～18時半(予定)

(16:30：～近畿大学会場オープン、16:50～サイトオープン)

■場所 近畿大学東京センター及び Zoom ウェビナー

<近畿大学東京センター>

〒103-0028 東京都中央区八重洲1丁目8番16号 新槇町ビル13階

TEL：(03) 3274-1105

<https://www.kindai.ac.jp/about-kindai/campus-guide/tokyo-office/access.html>

<Zoom ウェビナー>

視聴 URL をお申込み受付完了後にお送りする確認メールに記載します

■プログラム

(1) 調査レポート 「ひとり広報実態調査」報告 (事務局)

(2) “ひとり広報” 事例紹介 (2件)

①田尻有賀里氏 リスト(株) 広報部次長

②竹内昭彦氏 セコム(株) コーポレート広報部担当課長

(3) パネルディスカッション

テーマ：これからの“ひとり広報”を展望する(仮)

(パネリスト)

① 北野由佳理氏 (株) プレシヤスパートナーズ 執行役員 CMO

『人のつながりで成果を呼び込む！ひとり広報』著者

②田尻有賀里氏 (※前出)

③竹内昭彦氏 (※前出)

(コーディネーター)

渡邊香織氏 伊藤忠テクノソリューションズ(株) 経営企画グループ 広報・サステナビリティ
推進室長代行 兼 サステナビリティ推進部長、PRSJ 理事

(4) 交流タイム

名刺交換、交流の時間を設けます。※軽飲食付き

- 参加費 会場参加 3,000 円 (※先着 20 名限定)
※PRSJ 会員 2000 円
オンライン聴講 1,000 円

- 参加資格 ひとり広報当事者の方、広報担当の方ならどなたでも参加可能
(※会員・非会員に関わらず)

■申込方法

日本パブリックリレーションズ協会の Web サイト (以下 URL) からお申込みください。

<https://prsj.or.jp/event/prsjmeetuphitorikoho1030/>

(事務局 青田)

パブリックリレーションズ実務講座 2023

「PRケーススタディ(第2回)」を10月下旬開講 ～「社会課題解決に向けたPRのチャレンジ(仮)」～

教育委員会

協会では、PR関係者の間で高く評価されるプロジェクト事例をとり上げ、ケーススタディとしてその戦略やプラン、施策、成功のためのポイントを学ぶ講座「PRケーススタディ(第2回)～『社会課題解決に向けたPRのチャレンジ(仮)』」を10月下旬からオンデマンド開講いたします。

本講座では、当協会が主催する「PRアワードグランプリ」における顕彰エントリーを中心に優れたPR事例を選定し、実際にそのプロジェクトにかかわるメンバーにその内容をご紹介します。すでにこの7月には、昨年度の「PRアワードグランプリ2022」を受賞した2つの顕彰事例に、2020年度にシルバーを受賞したプロジェクトをその後の進捗を交えて紹介する事例を加えた3プロジェクトの講演を第1回講座としてオンデマンド開講しています。

第2回講座では、「PRによる社会課題課題に向けたチャレンジ(仮)」をテーマとして、「PRアワードグランプリ2022」における2つの受賞プロジェクト、2021年度にシルバーを受賞した1プロジェクトをとり上げ、その概要をはじめ戦略やプラン・施策のポイント、さらに審査におけるプレゼンテーション、エントリーシートでは明かされていない隠れた苦勞、工夫などについてもご紹介いただく予定です。

教育委員会では10月下旬の開講に向け、第2回講座の動画収録などの作業を進めています。詳細ならびに受講申込みについては、開講準備が整い次第、会員あてのメールと協会Webサイトの案内ページにてご案内いたします。

なお、7月開講した「PRケーススタディ(第1回)」は来年3月末まで通年開講中です。受講をご検討のみなさまは、下記の協会Webサイト 講座案内ページをご覧ください。

<https://prs.j.or.jp/event/casestudy2023-1/>

■ 「PRケーススタディ(第2回)」の概要

No	講座タイトル	講師(予定)
講座1	<「PRアワードグランプリ2022」ゴールド受賞> 「あらゆる人の“したい暮らし”を実現する「FRIENDLY DOOR」プロジェクト」	株式会社 LIFULL
講座2	<「PRアワードグランプリ2022」シルバー受賞> 「ブランドを社会発想で価値化し、仲間を巻き込むPRコンテンツに!『人にやさしくなるゲーム』」	株式会社博報堂
講座3	<「PRアワードグランプリ2021」シルバー受賞> 『健康経営の隠れた課題 “みえない多様性”に優しい職場づくりプロジェクト』	日本イーライリリー株式会社

(事務局 真部)

PRプランナー資格認定制度／検定試験

**第 34 回2次試験の申込みは 10 月 27 日まで
一試験期間は、11 月 11 日(土)～19 日(日)ー**

資格委員会

2023 年度後期（第 34 回）2 次試験のお申込み締切りは 10 月 27 日（金）、試験は CBT 方式で、試験期間は 11 月 11 日（土）～11 月 19 日（日）の 9 日間を実施します。

2 次試験では、試験勉強を通して広報・PR に関する実務に関する専門知識が履修できる内容となっております。また時事問題の履修は、世の中で起きている出来事を常に意識し、テレビや新聞、インターネット等で情報収集することによって、自社の企業価値を高めていくための目標や課題を、広報・PR 実務に結び付けていく第一歩にも繋がります。

この機会に、ぜひ受験をご検討いただければ幸いです。

【PRプランナー資格認定制度／検定制度 第 34 回 2 次試験 実施概要】

試験期間	2023 年 11 月 11 日（土）～11 月 19 日（日）
仮申込み期間	2023 年 10 月 27 日（金）23:59 まで ※PRプランナー資格制度 Web サイトでのお申込みとなります。（本申込みに必要な受験コードを取得）
本申込み期間	2023 年 11 月 3 日（金）23:59 まで ※CBTS Web サイトでの本申込みとなります。（受験日時・会場選択、受験料のお支払い） ※CBT 方式の PR プランナー試験を初めて受験する方のみ、CBTS Web サイトにユーザー登録が必要となります。
合否発表	2023 年 11 月 29 日（水）正午
受験資格	1 次試験合格者（1 次試験に合格していれば、PRプランナー補の資格を取得していない方も受験できます。）
試験科目	科目 A：企業経営と広報・PR に関する知識 科目 B：マーケティングと広報・PR に関する知識 科目 C：コミュニケーションと広報・PR に関する実務知識 科目 D：時事問題（今回の出題範囲は、2023 年 4 月～9 月末までの 6 ヶ月となります）
試験時間	科目 A + B 80 分、トイレ休憩をはさみ 科目 C + D 80 分
試験出題数	各科目 25 問、全 100 問
合格基準	全出題数に対して正答率 65%以上、かつ各科目の正答率がいずれも 50%以上で合格とします。 （全出題数に対して正答率 65%未満の場合、もしくは 1 科目でも正答率 50%未満の場合は不合格となります）
対応公式テキスト	広報・PR 実践（2022～2023 年度版）

試験スケジュール等、詳細につきましては、下記の PRプランナー資格制度 Web サイトでご確認ください。よろしくお願いいたします。

PRプランナー資格制度 Web サイト：<https://pr-shikaku.prsj.or.jp/>



パブリックリレーションズ実務講座 2023

開講中！「PRプランナー2次試験対策講座」

～2次試験合格に向けた最短コース～

教育委員会

協会では、本年11月に実施される「PRプランナー資格認定検定2次試験」の受験者を主な対象として、「PRプランナー2次試験対策講座」をオンデマンド開講しています。

「PRプランナー2次試験対策講座」は毎年2回実施される「PRプランナー資格認定検定第2次試験」の受験者を対象として、試験範囲の解説を通じて合格に必要な知識やポイントを習得していただく試験対策講座です。

講座では、公式テキスト「広報・PR実践」に基づき、2次試験の対象となる「科目A」～「科目C」の内容をそれぞれの分野に通じた講師がわかりやすく解説を行います。

また特に、受験準備の難しい「科目D」（時事問題）については、試験で出題される時事問題の傾向とともに、試験対策において効果的に活用できるポイントを解説しています。

本講座はインターネットを活用したオンデマンドWeb講座として開講しています。このため、受講者は、パソコン・スマートフォン・タブレットなどの機器を利用しながら、時と場所に制約されることなくご自身の事情にあわせて講座を柔軟に受講して受験準備を進めることができます。毎日の予定に追われるご多忙なみなさまも、パソコンやスマホなど手元の通信端末を利用して、都合のよい時間に、また試験対策に必要な内容を理解できるまで、何度でも繰り返し履修することができます。

本講座は2次試験合格に向けた最短コース。合格をめざす皆様の受講をお待ちします。講座の詳細ならびにお申込みについては、下記URLの案内ページをご覧ください。

<https://prs.j.or.jp/event/2nd-2019/>

当協会の会員のみなさまは、会員専用マイページから受講をお申込みいただくことができます。

本講座は「PRプランナー2次試験」の合格に向けた効果的な受験対策。PRプランナー資格取得をめざすみなさまの受講をお待ちいたします。

(事務局 真部)



国際セミナー

カンヌライオンズ 2023 PR部門受賞作品から見えてくるもの

2023年9月21日(木)19:00~オンラインで開催

国際・交流委員会

協会では9月21日、オンラインセミナー「カンヌライオンズ2023 PR部門受賞作品から見えてくるもの」を開催しました。

このセミナーは毎年フランスで開催される国際的なクリエイティブ・フェスティバルである「カンヌライオンズ」のPR部門で受賞した作品の紹介と解説により、グローバル視点でのPRの新たな動きや手法などを学ぶものです。

今年も講師はカンヌライオンズなどで審査委員経験のある4人の方をお願いいたしました。

(株)電通 PRコンサルティング 執行役員 井口 理氏

PRコンサルタント 尾上玲円奈氏

(株)博報堂 執行役員/博報堂ケトル クリエイティブディレクター・編集者 嶋 浩一郎氏

(株)本田事務所 代表取締役/PRストラテジスト 本田哲也氏

(氏名五十音順、肩書は実施時のもの)



写真左から嶋氏、尾上氏、井口氏、本田氏

セミナーでは100名以上の方が視聴する中、講師それぞれが推薦する受賞作を紹介、解説。他の方がさらに視点を広げるコメントをするクロストークの形で1時間半の予定時間があっという間に終了、15分ほど延長する形で終了しました。

今回紹介されたカンヌライオンズPR部門の受賞作は下記の通り。動画検索などでほとんどの作品が視聴できますので、参加された方もされなかった方も今のグローバルのPRを感じるためにお時間あるときにご覧いただくことをお勧めします。

DOORDASH - Self Love Bouquet

BUDWEISER - Bring Home the Bud

LALCEC - The Postponed Day

MIGROS - The Migros Beer

HEINEKEN - The Closer

COLUMBIA JOURNALISM REVIEW - Are You Press Worthy

OREO INDIA - #BringBack2011

ITV X CALM - The Last Photo

NIKE - Home

(事務局 渡邊)

協会掲載記事

● 9月1日(金) 『広報会議』10月号 (株式会社宣伝会議)

『広報会議』10月号における連載コラムで、当協会の国際・交流委員会が開催した「国際セミナー」と「They Talk Forum」について記事掲載されました。

「国際セミナー」は5月12日に日本国際放送(JIB)代表取締役社長の高尾潤氏を招いてウクライナ問題をテーマにオンライン開催されたこと、また「They Talk Forum」は6月16日に日本テレビ放送網グローバルビジネス局の谷尾俊美氏を招き、「誰もあるいたことのない道を～Embrace yourself! 自分を抱きしめて生きるということ」をテーマとして対面開催されたことを伝えており、両講師のプロフィールやそれぞれで語られた内容が紹介されています。

[記事協力：株式会社内外切抜通信社]



事務局の青田です。

10月に入り、各部会・委員会の活動が活発に展開されている最中、ジャニーズ事務所の記者会見の運営に関する報道が連日続いています。会見を主催した企業と運営を受託したコンサルティング会社の双方がメディアによって糾弾され、本題である性加害問題はどこかに飛んで行ってしまいました。

この件に関して、PRSJとしてのステートメントを公開しましたのでメール、協会サイトをご確認ください。

では、今月のトピックスをご紹介します。

■企業部会・関西部会の共催で「近畿大学東大阪キャンパス見学会」は大成功！

企業部会と関西部会と共同での初の試みとして、「近畿大学東大阪キャンパス見学会」を10月VI日に実施しました。参加者から「もう一度、学生生活をしてみたい」と声が出るほど魅力的なキャンパスを企画・設計するにあたり、広報が大きな役割を担ったことがうかがわれ、参加したみなさんはかなりの刺激を受けた様子。その後の懇親会では東京から参加された会員と関西の会員とが交じり合っの懇親会も賑々しく行われ、有意義かつ楽しい時間が共有されました。事務局体制が刷新され、オフィス移転も着々と進んでいる関西部会の今後がますます楽しみです。

■「PRアワード」エントリー、「日本PR大賞」候補者ともに募集中です！

2023年度の両賞ともに、会員のみなさまからのエントリー、推薦を今、受け付けています。

「PRアワード」は10月16日、「日本PR大賞」は20日が締め切りです。まだまだ間に合います。PRを熟知する会員のみなさんの英知をどうかお寄せいただき、まだまだ誤解の多い「PR」をしっかりと社会に説明、アピールしていきましょう。

■「PRSJひとり広報MEET UP」を10月30日に開催します！

6日にご案内した「PRSJひとり広報MEET UP」。すでに会場参加の枠はほぼ埋まり、関心の高さがうかがわれます。オンライン参加は制限がないものと考えていただいて結構ですので、ドシドシご参加ください。お待ちしております！

(事務局長 青田)

編集担当より

本誌の内容に関するご意見・希望をお寄せください。

中身の濃い会員誌に育てていきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

広報委員会

Eメール mail@prsj.or.jp

※禁転載

公益社団法人日本パブリックリレーションズ協会

〒106-0032 東京都港区六本木 6-2-31 六本木ヒルズノースタワー5F

関西支部 〒530-0003 大阪府大阪市北区堂島 2-1-27 桜橋千代田ビル 3F